

平成29年度 第2回中濃支部研修会 活動報告

日時：平成29年11月20日(月) 18:30～20:30

場所：木沢記念病院 中部療護センター

方式：症例発表とグループワーク

演題：①脳血管性認知症を呈した症例 ～理学療法士としての役割～
のぞみの丘ホスピタル 伊藤 千加良 先生
②当施設利用者の住環境整備 ～屋内の移動を中心に～
有本整形外科 長谷部 晃平 先生

寒さがひとしお身にしみる頃となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今回の中濃支部研修会は、症例発表とグループワーク形式で行われました。平日の業務終了後の開催ではありますが、40名以上の支部会員が参加されました。今回は比較的年齢が若い支部会員の参加が多かったようですが、グループワークも慣れたものでグループごとに司会・発表者・書記を素早く決めて、手際よく進行する姿には感心しました。検討課題に対しての意見も積極的に飛び交い、今後の参考になる意見や考えも得られたのではないのでしょうか。



症例発表を通じて「各施設の療法士の(横のつながり)を深めるにはどうしたらよいか？」という検討課題が上がりました。その中で、医療機関を退院された方が通所リハビリを利用される際に、医療機関からのリハビリ情報提供書がほとんどもらえない、という現状が浮き彫りになりました。地域での連携がますます求められる世の中、多施設の理学療法士が共

同でこのような課題を解決する機会として、中濃支部会がより意義深い組織となることを感じました。また、毎年恒例の新入会員の自己紹介も行われました。物怖じせず、ユーモアを混ぜながら自己アピールができる新入会員たちはきっと中濃支部・岐阜県士会を盛り上げてくれることでしょう。



最後になりましたが、症例発表をして頂いた伊藤先生、長谷部先生ありがとうございました。また、いつも会場設営をして頂きます木沢記念病院の先生方に感謝の意を申し上げます。

中濃支部広報部 可児・加茂地区担当

可児とうのう病院 リハビリテーション係
加地 覚